

平成16年度 分野チェックリスト

分野名	安全・安心分野		分野番号	1
分野担当部	都市整備部	関連部	教育委員会事務局、政策経営部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			13年度	14年度	15年度	17	年度末
1	犯罪発生率	件/万人	209	218	210		毎年減
2	駅前放置自転車の台数	台	9,023	8,485	7,056		4,512
3	狭あい道路を整備した率	%	15.2	16.3	17.4		20.0
4	杉並区が安全・安心なまちと思う区民の割合	%	58.4	57.7	60.8		毎年増
5	交通事故死傷者比率	件/万人	79	77	75		64

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

1 都内における平成15年中の全刑法犯(交通関係の業務上過失致死傷罪を除く。)の認知件数は299,406件で、平成14年と比較して2,507件減少し、戦後最悪を更新した昨年より改善された。杉並区でも同様に10,752件と、前年比363件の減となっている。引き続き犯罪を減少させていくために、ごみの不法投棄、放置自転車対策など住民との協働をすすめ、犯罪が起こりにくい環境をつくりだして、犯罪発生を抑制するまちづくりを区民や関係機関とともに進める必要がある。

2 駅前放置自転車台数は、平成13年度に9,023台だったのが、自転車放置防止活動や自転車駐車場整備等の推進によって15年度には21.8%減の7,056台となり、サイクルアクションプログラムに掲げた15年度末の目標値は達成することができた。現在取り組んでいる自転車放置防止協力員組織の充実など、区民との協働をはじめとした各種自転車対策により、サイクルアクションプログラムに掲げた削減目標の達成を目指す。

3 狭あい道路の整備率は、住宅の建替え需要にあわせて順調に伸びているが、今後の景気状況の変化とともに伸び率の増減があると見込まれる。消防活動困難区域の解消など、災害に強い安全な都市基盤整備のために区民及び事業者と協力を求め、実施計画に定める整備数値(6500m/年)を着実に遂行することで目標値(20.0%)を達成していく。

4 杉並区が安全・安心なまちと思う区民の割合は、14年度は減少したものの、15年度は前年比3.1%の向上となった。不燃化事業や雨水流出抑制対策などを推進し災害に強いまちをつくることで、引き続き本指標値の向上を図る。

5 都内の交通事故発生件数は、平成12年の91,380件(死傷者105,486人)をピークに、年々減少傾向にある。杉並区においても前年比59件の減と、同様の傾向にある。また、平成15年の人口1万人あたりの死傷者数は、全国93人、東京都80人と比べ、杉並区75人と低い値を示している。しかし、安全で快適なまちをつくるためには、交通事故発生件数をさらに減少させていく必要がある。今後もこの減少傾向を維持するため、交通安全施設などの整備、交通ルール・マナー教育などの対策を、区民・関係機関の協力のもとに取り組んでいく。

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)			
	定義				
1	犯罪発生率	人口1万人あたり犯罪認知件数	平成12年	平成13年	
	人口1万人あたりの件数 = 区内で発生した刑法犯 ÷ 各年1月1日の人口 (住民基本台帳) × 10,000 (「警視庁の統計」、「杉並区統計書」から)	東京都区部 横浜市 川崎市 千葉市 (「特別区の統計」から)	270.1 197.0 215.7 353.6	264.6 202.3 208.4 343.9	
2	駅前放置自転車の台数	世田谷区	平成13年10月 31駅16,303台	平成14年10月 25駅13,704台	平成15年10月 21駅11,847台
	区内の駅周辺に放置される1日平均の放置自転車の台数 (「杉並区統計書」から)	中野区 杉並区 豊島区 板橋区 練馬区	11駅 4,046台 15駅 9,357台 12駅 9,377台 22駅11,225台 13駅 6,692台	11駅 6,918台 18駅 8,529台 12駅 7,848台 22駅10,453台 17駅 7,277台	10駅 2,626台 17駅 6,392台 10駅 7,353台 22駅10,628台 16駅 6,953台
3	狭あい道路を整備した率	平成14年度狭あい道路の整備完了率			
	整備延長距離 ÷ 42条2項道路総延長距離 × 2 (両側)	豊島区 20.8% 大田区 6.6% 参考: 杉並区内の平成15年度末の都市計画道路完成率47%			
4	杉並区が安全・安心なまちと思う区民の割合	平成13年度は参考数値。			
	「杉並区区民意向調査」から				
5	交通事故死傷者比率	1万人当りの交通事故発生件数(人身事故)	平成12年	平成13年	
	人口1万人あたりの件数 = 区内で発生した交通事故による死傷者 ÷ 各年 1月1日の人口(住民基本台帳) × 10,000 (「警視庁の統計」、「杉並区統計書」から)	東京都区部 横浜市 川崎市 千葉市 (「特別区の統計」から)	75.7 74.9 67.3 69.2	74.2 73.1 65.9 68.5	
特記事項					